

【編集後記】

2005年に創刊された神戸親和女子大学大学院研究紀要も今号で第15号を迎える。第2号以降、歴代編集委員長の、荒木紀幸先生、多鹿秀継先生、丸山総一郎先生より引き継いで、今号から微力ながら担当させていただくことになった。

これを機にこれまでの歩みを確認したところ、全般的な投稿数の減少が気にかかった。第8号までは、第1、2号の8本を除いて10本以上の論文の掲載があったが、12号以降は6～7本程度で推移していた。今号では8本を掲載できたが、その減少の多くが心理臨床学専攻に帰せられることは自戒を込めてここに書き留めておきたい。それまでの多くの号では5～6本の投稿があったが、12号からは1本のみで、今号ではとうとうゼロとなってしまった。もちろん研究紀要だけでなく、内外の数多くの学術雑誌等への投稿はなされているだろうが、昨今の心理臨床学専攻への入学生がかつてより少なくなっていることと連動していなければと感じてしまう。

厚生労働省による統計手法の不正が大きな問題となっているが、この問題の本質は政治に限らず、事実の妥当な記述と認識があらゆる議論の出発点に置かれなければならないことにある。心理学における実証研究でも再現性を重視するが、近年、多くの論文に再現性がないことが報告されて大きな問題となっている。事実をどのように切り取るか、その切り取られたデータが事実を正しく反映しているかを吟味することなく研究は先に進まない。その妥当なデータを、恣意的な解釈に依ることなく、客観的で整合性の高い議論によって、研究の本質である重要な問題の解答や解決への道筋を示すような論文の増加を期待したい。

(T.Y.)

表紙のデザインについて

うす緑の落ち着いた色調を背景に紺の帯に白抜きで神戸親和女子大学大学院研究紀要の横文字を配し、多くの研究を表す縦の緑の直線が未来に向けて伸びる構成となっている。このような色調と構図はさわやかさ・聡明さ・厳粛さ、大学院をベースとした発展と意気込みを象徴している。

神戸親和女子大学大学院研究紀要 第15巻

平成31年3月31日発行

編集者 神戸親和女子大学大学院研究紀要編集委員会
発行人 大学院研究科長 三井 知代
住 所 〒651-1111 兵庫県神戸市北区鈴蘭台北町7丁目13-1
神戸親和女子大学大学院合同研究室 078-591-1743
印 刷 サ ン キ 印 刷 株 式 会 社 06-6453-6541